



▶可憐なカタクリの花（土田・可児川下流域公園）  
◀神社のたたずまいに桜が映えます（今・八幡神社）



3~4月 春らんまん  
各地から花だより

3月から4月にかけて、市内各地で、桜やハナモモなどの花が満開となり、市民の目を楽しませました。  
例年より1週間ほど早い3月中旬、土田の可児川下流域公園ではカタクリの花が満開となりました。可憐な花がじゅうたんのように一面に咲き、市外からも多くの見学者が訪れました。



◀春を告げる淡墨桜（帷子公民館）  
▼多くの方が散策に訪れました（市役所）



▲▼土田白鬚神社流鏝馬祭



▲兼山桜まつり

4月上旬~中旬 春のお祭り  
郷土色豊かなお祭りいっぱい

今年も市内各地で春のお祭りが行われました。

4月5日には、白鬚神社の大祭・流鏝馬祭（土田）と兼山桜まつりが行われました。晴天に恵まれたこの日、桜も見ごろであって、どちらのお祭りも多くの人でにぎわいました。

白鬚神社の流鏝馬祭では、古式豊かな武家装束をまとった若者が馬にまたがり、参道を駆け抜けながら的に向

かって矢を放つと、観客から大きな歓声が沸き上がりました。

兼山の蘭丸ふるさとの森では、7分咲きの古城山の桜を背に、烏峰太鼓や兼山小学校金管バンドが演奏を行い、祭りを盛り上げました。

また、4月19日には、久々利八幡神社大祭が行われました。  
八幡神社で神事が行われた後、二基の神輿と獅子の行列が、途中で合流した二台の山車と共に八剣神社まで練り歩きました。八剣神社では、獅子舞が披露された後、「前車」、「後車」と呼ばれる二台の山車の上でからくりが華やかに演じられました。  
どの祭りにも多くの見物客が訪れ、郷土色豊かな春のひと時を満喫しました。



▲久々利八幡神社大祭

3/17~26~

安心安全な地産地消  
かに米でみそを作ろう



▲真剣なまなざしで作業を進めます

3月17日と26日からの各3日間、可児市生活改善グループと市の共催で、「手作り味噌を作ろう」講座が行われました。米を蒸すことから始まり、3日目には持参した容器にみそ玉を詰め、各自持ち帰りました。  
受講者からは、「これを機会に添加物などを見直したいです。」「1年後が楽しみです。」「といった感想が寄せられました。  
持ち帰ったみそは、1年以上寝かせ、来年の秋以降が食べごろだそうです。

また、3月中旬、ソメイヨシノに先駆けて帷子公民館の薄墨桜が見ごろを迎えました。来館者は、しばし足を止めて、春を告げる淡い色調の桜に見入っていました。  
4月上旬には、市内各地で桜が満開となり、好天と相まって多くの人が花見を楽しみました。  
桜より一足遅い4月中旬には、川合公園のハナモモが見ごろとなり、桜の散った公園内を濃いピンクと白で鮮やかに彩りました。



▲色鮮やかなハナモモ（川合公園）

4/8  
市政見学バス  
市の施設をご案内

市内の施設を見学する、市政見学バスが今年度も始まりました。  
4月8日、今年度第1回目の市政見学バスが運行され、久々利グラウンドゴルフ同好会の皆さんが、川合浄水場や学校給食センター、兼山歴史民俗資料館などを見学しました。

この日は好天に恵まれ、川合浄水場では屋外で水をきれいにする実験も行いました。昼食は名城大学の学生食堂を利用し、若返って学生気分も楽しむました。



▶大人でも楽しめる浄水場の実験